

市議会議員として



高校を卒業後、11年サラリーマンを経験し、平成8年から11年間「衆議院議員新藤義孝」代議士の秘書として政治を学びました。秘書として市民と交流を重ね「川口の為に川口市民の為に役に立ちたい!」と強い思いから平成19年4月川口市議会議員に初当選し、その後、多くの方からご支援ご協力をいただき4期連続当選をさせていただき現在に至ります。

その間、「現場主義」を基本姿勢に、地域や団体の様々な集まりに足を運び市民の声に耳を傾け、行政との橋渡し役として、多くの要望を受け実現して参りました。政策を実現させるためには、諦めず!粘り強く!行政が納得する材料を揃えるなど手腕が求められます。

平成29年9月「第70代川口市議会議員」に就任、この一年「青木町公園総合運動場陸上競技場改修記念式」「グリーンセンター開園50周年記念式」「スキップ橋開通式」「新庁舎建設起工式」「中核市移行記念式」「火葬施設めぐりの森オープン」「赤山歴史自然公園イナパーク開園」「新市立高校開校」等々、と本市にとって節目の年となり、その様々な経験から、川口市全体の景色がより鮮明に、より深く感じられた一年でありました。

また、自民党市議団の活動において、令和2年10月に市議団幹事長に就任し、団内の取りまとめや、議会運営委員会において、自民党提案による「常任委員会及び決算審査特別委員会」における「会派持ち時間制の導入」を行い、各議員の公平なる持ち時間の確保に努め、より円滑な委員会運営が行われ議会改革を進めております。

今後は、ポストコロナを見据えるとともに、急速に訪れる、超高齢社会、人口減少化の中、さらに選ばれるまち川口の構築が必要不可欠であります。

私は「今までも・これからも市民の声をカタチに!」をスローガンに「いつもニコニコ元気よく!」市民の皆様に夢を語り、それを実現させるべく活動を引き続き頑張っております。



川口市長
奥ノ木 信夫

わかや君を 応援します!



元総務大臣
新藤 義孝

プロフィール

- 家族構成 妻・息子（Jリーガー・J3ギラヴァンツ北九州）
父・母（妻の父母）
- 1965年12月29日生まれ（57歳）O型
- 埼玉県立浦和商業高等学校卒業
- サラリーマン歴11年
- 議員秘書歴11年（衆議院議員 新藤義孝公設秘書）
- 国会議員政策担当秘書資格取得（平成14年）
- 川口市議会議員初当選（4026票・平成19年）
- 川口市議会議員2期目（4127票・平成23年）
- 川口市議会議員3期目（3289票・平成27年）
- 川口市議会議員4期目（3551票・平成31年）

主な役職

- 第70代川口市議会議員（元）
- 福祉保健常任委員
- 保健医療・高齢者等福祉対策特別委員会副委員長
- 川口市都市計画審議会委員
- 芝北公民館運営審議委員
- 議会運営委員長（元）
- 監査委員（元）
- 戸田競艇議会副議長（元）
- 総務常任委員長（元）
- 福祉環境常任副委員長（元）
- 川口市学校給食運営審議会会長（元）

ライフワーク

- 川口市ソフトボール協会会長
- 川口市サッカー協会副会長（4種連盟会長）
- 川口市ミニテニス協会顧問
- 川口市柔道連盟顧問
- 柳崎小学校運営協議会委員長
- 芝東中学校運営協議会委員長
- 柳崎小・芝東中学校評議員
- 芝中央小学校応援団SRC相談役
- 川口市PTA連合会会長（元）
- 芝東中学校PTA会長（元）
- 柳崎小PTA会長（元）
- 芝東中学校後援会・応援団メンバー
- やなぎの会メンバー（柳崎小学校応援団）
- 柳崎町会顧問
- 柳崎サッカークラブジュニア顧問
- 柳崎若衆会会長
- 柳崎ミニテニス及びソフトボール部員
- 北園キングホークス顧問
- 本町SA顧問
- 芝朝野球連盟相談役
- 鳩ヶ谷地区婦人バレーボール連合会長

市民相談、電話・メール・FAXにて受付中

若谷 正巳 事務所

〒333-0861 川口市柳崎1-10-6
TEL. 048-264-3200 FAX. 048-261-1060
E-mail wakaya@nikowaka.jp URL <http://www.nikowaka.jp>

討議資料 川口市議会活動報告及び政策集



いつも ニコニコ 元気よく!
～わかやがつくる川口の元気!～



今までも これからも 市民の声をカタチに。

サラリーマン歴11年
国会議員秘書歴11年
市議会議員歴16年

実績の57歳

この4年間の主な活動（写真編）



芝園団地自治会真下会長、芝園ハイツ自治会平形会長、芝富士町会伊藤町会長と共に「芝園・芝富士地域への診療所誘致」の要望書を奥ノ木市長へ手交。

※旧芝園団地内診療所へ誘致が決まり、開設に向け準備が進められています。



雨水貯留施設（柳崎公園）



川口ソフトボール協会コロナ禍での会議の様子



芝東中学校応援団のメンバーと古紙回収！

若谷がプロジェクトリーダーとしてまとめました。

川口市議会 共に学ぶ子ども条例
障害ある子どもの差別解消へ

川口市議会は昨年の12月議会で、議員提案による「障害のあるなしに関わらず共に学ぶ成長する子ども条例」を全会一致で可決した。今年4月1日に施行された。障害のある子どもが保育や教育で受けられる差別を解消し、合理的配慮を支援し、関係機関との情報交換・協議を通じた差別の解消を。市と市民の役割を明らかにし、社会的障壁の除去の推進、インクルーシブ教育・医療ケア・人員の配置などの施策を掲げた。

条例をまとめた市議チーム4人のうち1人は、姉妹2人と妹2人が施設に連年入所しての解消へ向けた市の取り組み、奇り添っている経験が条例案作成の原動力になった。昨年8月、国連が障害者権利条約に基づき日本政府に対する勧告を行い、通常学級保育や教育を受けるとき、誰



いとは言えない」とし、社会的障壁の除去の推進、インクルーシブ教育・保育が実施できる市の実現を訴えた。

市によるインクルーシブ教育関連の条例としては、佐賀県鳥栖市の「鳥栖市全ての子どもが安心して共に学び、共に成長するための保育及び教育の環境整備を推進する条例」(19年10月1日施行の前例があるという。(岸 鉄夫)



自民党議員団にて「ウクライナ人道支援」募金活動



新藤代議士演説会にて仲間と



奥ノ木市長と市政を語る会

若谷正巳が掲げる政策 11 ～市民の声をカタチに！～

■健全な財政運営

税負担の公平性、行政サービス向上のための自主財源の確保の観点から、市税収納率の向上対策を議会で提言してまいりました。その結果収納率が平成25年対比で 7.3% 上がり、令和5年市税収納額ベースで約73億円の増額となります。

今後は健全なる財政運営をさらに進め財源を確保し、超高齢社会に順応し、明るい高齢者！働きやすい街！子育ての充実！住みやすい街川口を構築し、時代に合った施策を打ち出していく事が重要となります。

■新たなコミュニティの構築

新型コロナウイルス感染症が蔓延し、人々の交流が希薄になっています。町会やPTA、商店会、各種団体組織のポストコロナの在り方について、新たな形づくりが必要不可欠と考えます。

■新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症が発生した当初は人々が不安感に駆られ、早くて早朝4時から遅くは夜中の2時に、電話やメール、LINE等々で相談を受けました。その相談を基に保健所の体制整備、迅速なワクチン接種、市内医療機関への支援、産業支援等々の充実を図りました。

今後はこれまでの経験（エビデンス）を基に効果的な施策や体制づくりの構築を図ります。

■保健・医療

私自身、「潰瘍性大腸炎」の疾患を持つ中、特定疾患の更新や身体障害者手帳の交付等々、埼玉県保健所の事務事業が川口市独自で行うようになれば、より市民サービスの向上に繋がると感じ、保健所事務権限を持つ中核市への移行を提言してまいりました。平成30年4月に中核市へ移行し、様々な申請がより丁寧にスピードアップされました。また「新型コロナウイルス感染症対策」も迅速に実施することが出来ました。

今後は保健所機能を更なる充実。医療センターに手術支援ロボットの導入等、機能強化を図り、救急救命体制の強化。口腔保健センターの設置。接骨院・整骨院等々の子ども医療費窓口無料化など市民の生命を守ります。



■子育て・教育

私が市議会議員に初当選した年に息子が小学校に入学し、同時にPTA活動に参加し、保護者・教職員の想い、学校現場の課題を目の当たりにしました。その課題である、小中学校エアコン設置、小1ギャップ対応支援員、英語教育の充実、不登校生徒児童対応等々、様々な課題解決に向け提言してまいりました。現在も柳崎小・芝東中の学校運営協議会委員長として諸課題に取り組んでいます。また、「こども夜間救急診療所」の開設。子ども発達支援センター「るるる」の開設、ひとり親家庭の支援、私立幼稚園入園料の補助拡充、保育環境の充実、乳児途中入所促進事業、産後ケア事業等々実現しました。

今後は妊娠期から育児期までの一貫した相談支援。ひとり親家庭と子どもへの支援体制の強化。ヤングケアラー支援事業。公営公設保育所において医療的ケア児受け入れ、特別支援学校、特別支援学級の拡充など、インクルーシブ教育及び保育の推進。不登校特例校設置など支援事業。発達障害等を持つ児童生徒と保護者への総合的な支援体制の構築。学力の維持・向上を図り、子ども達に夢や希望が持てる社会の実現を目指します。

■高齢者及び介護支援策

同居している妻の両親がいつまでも明るく元気でいて欲しい！そんな想いをいつも抱いています。そんな中、介護予防ギフトボックス事業や川口市高齢者サービス情報サイト「かわぐち元気ナビ」の開設等々、実現しました。

今後は一人暮らしの高齢者への見守り強化、健康寿命への取り組みの充実。安心して出かけられるよう歩道のバリアフリー化・デマンドバス等々きめ細やかな公共交通の構築、介護予防や介護事業者への更なる支援策に努めます。

■防犯・防災対策

避難所となる小中学校等々にマンホールトイレの設置。不法投棄箇所や通学路における防犯カメラの設置等々提言し実現しました。

今後はDXを活用した防災・危機管理体制の高度化。消防力の充実強化。地震・災害に強いまちづくりの推進を図ります。

■治水対策

令和元年東日本台風により「柳崎・在家地区」において、床上・床下浸水さらには多数の車が浸水被害にあいました。それを受けて翌日に河川課と翌々日に市長と打合せを行い、公園の地下を活用した「雨水貯留施設」を令和4年度までに6箇所設置しました。他には水位計設置、仮設ポンプ設置、溢水防止板設置等々の対策を講じております。

今後も当外貯留施設（写真参照）を全市的に進めて参ります。

■多文化共生社会

川口市には全国で一番多くの約39000人の外国人住民が暮らしています。現在、外国人向けポータルサイト「川口市外国人生活ガイド」を開設し、生活ルールの理解促進を図っていますが、一部の外国人による、交通違反やゴミ出し問題、夜中の騒音など数々の相談が寄せられております。

それらを解決するには日本の文化や街のルールを守るための更なる仕組みづくりや、悪質な事柄は警察との連携強化を図り、一方で相互理解を求める場として（仮称）国際交流センターを設置するなど多文化交流の促進に努めます。

■産業・働く

川口市は中小零細企業が集積し、市内経済を支えております。

今まで市産品フェアの開催、公共事業の市内企業優先発注、工事時期の平準化を図るためのゼロ債務負担、若者に響く市内中小企業の情報発信等々取り組んで参りました。

今後はポストコロナを見据えた新たな経済対策、雇用促進や人材育成支援、商店会活性化策の充実等々を推進します。

■スポーツ・文化

新型コロナウイルス感染症が人々の心を蝕み、引きこもりの方も増えております。

心身共に健やかなる暮らしやコミュニティの構築にはスポーツ・文化の存在は欠かせません。

スポーツ環境の更なる整備や中核市に相応しい文化施設整備を推進し、市民が積極的に出掛け出きる環境整備に努めます。